

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 3 年度)

施設の名称	東大阪市立斎場(岩田、額田、荒本)	指定期間	2 年度～	4 年度
		指定の方法	複数施設を一括指定管理	
施設所管課	健康部 斎場管理課	連絡先	06-4309-3192	
設置目的	葬儀や火葬が公衆衛生上その他住民の福祉の見地から支障なく執り行われる施設として設置			
施設内容・業務内容等	火葬業務及び施設の維持管理業務			
指定管理者	NSK株式会社	連絡先	059-359-7670	
人員体制	正規職員	7	人	パート・アルバイト
				人
			その他	人

2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	平成 30 年度	令和 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数	岩田:363日 額田:347日	岩田:363日 額田:347日	岩田:364日 額田:364日 荒本:246日	岩田:364日 額田:364日 荒本:250日	岩田:364日 額田:364日 荒本:250日
指定管理委託料(千円)	53,140	52,683	57,615	57,187	58,052
利用状況指標	1 斎場利用件数(件)	岩田:701件 額田:1,127件	岩田:714件 額田:1,259件	岩田:840件 額田:1,294件 荒本:221件	補足説明
	2				補足説明
	3				補足説明

※ 荒本斎場については、令和2年4月1日よりNSK株式会社が指定管理者となる。

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示) : S=チェック項目が全て○、A=×がなく「得点」が中間点以上、
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。
 「最終評価」(任意決定) : 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	A	施設の設置目的を十分に果たしており、また協定書を基本としながらも柔軟な施設運営を継続できていた。しかしながら、前年度に課題であった報告書類等についての対応は改善が見られず、指定管理者の提出・作成書類としては水準が低いので改善を求めたい。
B 管理・運営能力 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	S	供用日数や火葬件数については例年並みの高水準で推移しているが、前年度に引き続き安定した運営を行っていた。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A	一般の火葬の他、死胎や身体の一部など幅広い需要に答えることができている。接遇やマナー等についても利用者の満足度は高いと言える。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	B	得られた利用者の意見などを市と共有することがなく、アンケートの収集は事実上、効果を発揮しているかどうかは不明である。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A	利用件数は高水準で推移しているが、問題なく施設運営ができています。危機管理の面でも施設間で連携がとれており、3施設の指定管理者としての効率性を発揮できている。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	A	法令や各種規制等について順守しながらも柔軟に施設の運営ができていた。今後、例えばプライバシーマークを取得するなど、引き続き情報管理の意識向上に努められたい。
課題への対応 今後の取組	最終評価 (任意設定) A	施設の運営管理については、前年度に引き続き特段の問題もなく、質の高いサービスの提供ができています。しかしながら、前年度に課題であった報告書類等の作成、提出については改善できたとは言いがたいので、引き続き改善を求めたい。また、利用者アンケートの収集のために意見箱を設置しているものの、事実上活用できているとは言いがたいため、利用者の意見を反映できる仕組みの構築を求めたい。